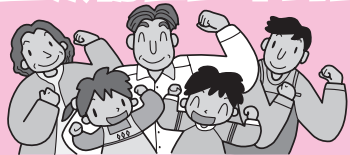


みんなでまちづくりをすすめよう

第五次総合基本計画



平成23年度～32年度予定の
第五次総合基本計画策定の進行状況をお知らせします。

『こんな昭島にしたい!』

第五次総合基本計画(基本構想・基本計画)の策定に向けて市民ワークショップを開催しました

平成23年度から始まる第五次総合基本計画(基本構想・基本計画)の策定にあたり、昭島市の将来都市像について、市民の皆さんから幅広く意見を聴くため、5月30日(土)に市役所市民ホールで市民ワークショップを開催しました。
※詳しくは、総合基本計画担当へ。

今回は、無作為抽出の市民ワークショップという新たな市民参画の手法を採用しました。これは、16歳以上の市民の方1000人を無作為で選び、参加を呼びかけるというものです。当日は、19人の方が参加し、4グループに分かれて活発な討議が行われました。

午前「昭島市の強み(良いところ)と弱み(改善すべきところ)は何か?」、午後「昭島市の目指すべき姿 こんな昭島にしたい!(将来都市像)」というテーマで話し合っただき、その内容をグループごとに発表していただきました。発表された内容は下の表のとおりです。



	昭島の強み (良いところ)	昭島の弱み (改善すべきところ)	昭島市の将来都市像
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> 水がおいしい 駅が多い 豊かな自然に恵まれている 昔ながらのアットホームな雰囲気が残っている 多摩川などのいこいの場がある 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動が弱い 騒音公害がある 対外的なPRが不足している 南北の交通が不便である 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の自主性が尊重・サポートされる社会 つながるあきしま 優しい生き生き
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> 水がきれいでおいしい 都会(立川など)に近い割に静かで落ち着いている 市域がコンパクトで小回りがきいて暮らしやすくなっている スポーツ施設が充実しているのでスポーツ活動が盛んである 自然環境に恵まれている 祭など自治会の活動が活発でよい 	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備が悪い 図書館などの文化施設が不じゅうぶんである 市の目指すテーマがはっきりしていない 広報でのお知らせ不足など、自治会活動が少ないのではないかと 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てしやすい日本一のまち(資金、市街地環境) 一生住める安心・安全なまち(安心して歩けるバリアフリー、老人施設の充実) まちを活性化して人を呼ぶ(多摩川での大規模イベント)
Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境に恵まれている 観光資源がある(くじら、北泉寮、神社、郷土芸能) 教育環境がよい 市民活動力がある 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設が少ない 子育て、高齢者見守りなど福祉が弱い 下水道、道路などの都市基盤整備が遅れている 財政基盤が弱い 地域活動への参加者が少ない 特産物がない 	<ul style="list-style-type: none"> 自然を守り人にやさしい街 外から人が来る街 一人ひとりが街づくり
Eグループ	<ul style="list-style-type: none"> 水、自然環境がよい 他地域(都内中心部)との良好な交通網 集客力のある商業施設 	<ul style="list-style-type: none"> 青梅線が南北の交通を疎外している 飛行機の騒音がひどい 企業誘致の基盤が弱い 医療施設(総合的なもの)が少ない 市の認知度が低い コミュニティ間(古い住民と新しい住民、地域と学校)の交流が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 教育立市(コミュニティ学校を手段として) つながりつながるまちあきしま(多摩川、玉川上水、地域、都心、教育、横田基地(外国へ近い)) 安心のまちあきしま(水、保育、高齢者医療)

※将来都市像について、参加者全員による投票を実施しました。結果は、1位…外から人が来る街(9票)、2位…子育てしやすい日本一のまち(8票)、2位…一生住める安心・安全なまち(8票)となりました。

※Cグループは人数調整のため、ほかのグループへ移動しました。